

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	覚醒試験を行う深部電極埋め込み術における麻酔管理について — 静脈麻酔と全身麻酔の比較 —			
② 実施予定期間	実施許可日 から 2027 年 3 月 31 日			
③ 対象患者	当院にて対象期間に、パーキンソン病、本態性振戦に対し深部電極埋め込み術を受けられた患者のうち、術中覚醒試験を行うことを予定されていた症例。			
④ 対象期間	2019 年 4 月 1 日 から 2025 年 3 月 31 日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	麻酔科蘇生科、脳神経外科			
⑦ 研究責任者	氏名	松崎 孝	所属	麻酔科蘇生科
⑧ 使用する情報等	性別、年齢、身長、体重、Body Mass Index、原疾患、使用した麻酔薬、上気道閉塞や呼吸抑制による酸素化の低下を認めた症例、血行動態、経皮的酸素飽和度、呼気終末二酸化炭素分圧、麻酔開始から CT 室への搬送までに要した時間、覚醒試験の可否、術後合併症の有無、術前後のパーキンソン病の評価尺度をカルテや麻酔記録から抽出します。			
⑨ 研究の概要	深部電極埋め込み術に対する麻酔方法は、手術中に患者さんに覚醒してもらい電極の位置の確認を行うため、一般的な麻酔方法での管理とは異なります。患者さんが苦痛を感じないように鎮静・鎮痛をしつつ自発呼吸を温存した状態で手術を開始し、必要に応じて手術中覚醒してもらうこととなります。しかし、鎮静が深すぎると呼吸がとまってしまい、鎮静が浅いと体が動いて安全に手術することができなくなります。安全に呼吸を保ちつつ、患者さんに苦痛がないような麻酔管理で、覚醒試験も成功させるために、2022 年から麻酔方法を静脈麻酔から正門上器具を用いた全身麻酔に変更しました。本研究では、従来行っていた静脈麻酔と、2022 年より行っている、声門上器具を用いた全身麻酔を比較し、手術中の気道トラブルの頻度、血行動態の変動、麻酔管理に要する時間を調査することを目的としています。その結果から、呼吸管理の安全性が高い麻酔方法、覚醒試験が確実に施行できる麻酔方法がわかり、最適な電極留置が可能になると考えられます。			
⑩ 実施許可	実施許可日	2026 年 6 月 1 日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。			

	詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	奨学寄附金			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 手術部 担当者：奥 朋子			
	電話	0836-22-2525	FAX	0836-22-2675